

寺山修司未発表戯曲
『青い種子は太陽のなかにある』

寺山修司の若き日の作品が
半世紀ぶりに甦る！

没後30年の
新発見！

群像 GUNZO 2013年
6月号

発売日：5月7日 定価：950円(税込)

〈発見経緯〉2013年5月で没後30年となる今年、寺山修司の未発表戯曲が東京都内で発見されました。2007年に死去した舞台監督・田中好道氏の事務所に保管されていたもので、次男の英世氏が遺品を整理する中で見つけたものです。多くの寺山作品が出版されている中で、新発見の戯曲は極めてまれです。評論家の三浦雅士氏は、「音楽と舞踊、土俗的なエピソードが盛り込まれ、後の『天井桟敷』（1967年結成）時代の特徴が萌芽的に見られる。寺山演劇の形成過程がうかがえる興味深い資料だ」と評価しています。

〈概要〉物語は、スラム街近くの公園に市役所の役人が「立入禁止」の札を立てるところから始まる。民主党代議士の力添えがあり、浮浪者対策委員会が浮浪者のためにガス水道完備の近代アパートを建てるというのだ。しかし、その建築現場で事故死した労働者の遺体を関係者が隠匿するのを工員の賢治が目撃してしまう……。

男女のすれ違い、スラム街住人のドタバタなど、「天井桟敷」以前、20代の寺山修司が描く、反体制的な思想の萌芽を秘めた先駆的ミュージカル。



講談社
KODANSHA

講談社 メディア推進部：〒112-8001 東京都文京区音羽 2-12-21
Tel 03-5395-3961(直通) Fax 03-3946-6200
Mail medias@kodansha.co.jp 担当：濱崎 畑山 小川